

様式第十八の八（第 11 条の 4 第 6 項関係）

変更後の認定事業適応計画の内容の公表

1. 変更認定をした日付

令和 6 年 3 月 15 日

2. 変更後の認定事業適応事業者の名称

株式会社ラウンドワン

3. 変更後の認定事業適応計画の内容

（1）事業適応に係る事業の目標

新型コロナウイルス感染症の収束後におけるアミューズメント部門の売上・客数の回復・向上を目的とした 2024/3 期までの成長戦略として、ウィズコロナ時代における距離の確保等といったお客様のニーズの変化に対応した新たなクレンゲームフロアを構築し、2022 年までに全国で数十店舗体制を展開する。

その実現に向けた積極的な投資を行っていくことで、アミューズメントコーナーへの来場を伴うサービスの提供に関する事業の競争力を強化する。また、これに加え、今後、非接触型サービスの開発や『ROUND 1LIVE』等といった当社が提供できる「場」をインターネット空間に広げていくなど、ポストコロナ時代のお客様のニーズ変化も捉えた新しいアミューズメントサービスを継続的に提供していき、競合他社との差別化を図っていく。

（2）その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2024/3 期において、2021/3 期を基準として EBITDA マージンが 5 %ポイント以上上回ることを目標とする。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標

財務内容の健全性の向上としては、2024/3 期において、当社の有利子負債がキャッシュフローの 10 倍以下を目標としている。

また、経常収支比率は 100 %を上回る予定である。

（4）事業適応の類型

成長発展事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

複合アミューズメント施設等の経営（95 その他のサービス業）

（選定の理由）

同事業において、これまではボウリングやアミューズメントといった屋内型レジャー施設としてサービスの提供を進めてきたが、今後の新型コロナウイルス感染症の収束後における来場を伴うサービスの提供のニーズが高まることを踏まえ、今後も同事業を当社の柱として位置付けていくため、同事業における事業適応を実施していく。

(6) 事業適応の具体的内容

クレーンゲームを 300 台以上設置した「クレーンゲーム専用フロア」を 2022 年までに全国規模で数十店舗体制を構築するために、クレーンゲーム機の導入・フロアの改装を実施し、圧倒的な景品の品揃えで競合他社と差別化を図り、クレーンゲームの売上と集客の回復を見込む。

また、クレーンゲーム以外のジャンル（メダルゲーム・音楽ゲーム・ビデオゲーム）においては、ポストコロナ時代のお客様のニーズ変化を捉えた新しいアミューズメントサービスを展開する。具体的には、当社が提供できる「場」をインターネット空間に広げていく非接触型サービスの開発、「ROUND1 LIVE」、メーカーと協力したラウンドワン専用ゲームの開発・導入、及びこれらを設置するためのフロアの改装を進めていき、競合他社との差別化を図りクレーンゲーム以外のジャンルにおいても、売上と集客の回復を見込む。

上記投資により導入した新たなサービスの売上高が、2024/3 期における全体の売上高の 1 % 以上になることを目指す。

- ・ 旧産業競争力強化法第 21 条の 28 第 1 項の規定に基づく経済社会情勢の著しい変化に対応して行うものとして主務大臣が定める基準への適合：有

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：令和 3 年（2021 年）12 月 24 日

終了時期：令和 6 年（2024 年）3 月 31 日